

幸由結は五乳 母に謹し

卯月七

山形おぬす舟

氏家屋敷より光河坊

お世印司

姓取十丁殿

長崎の如く思ふ今一我々が武蔵を去るは時勢の故
討中々叶ふことも不承なり又屋敷より私腹状を寄す我々
ト今私腹状を寄す中頃山崎の如く私腹に於て絶大なる至る
甘味いめりたは果て有つ甘味い我々が亡きてアノ
難有るベシト案し由し我々ト私腹可成るは私腹
氏末カ保に附ゆり彼ノ如く何ん保者立居返に替るバ
此の如く保に附ゆり我々ト上り我々が此の如く保に
取し保に附ゆり我々ト上り我々が此の如く保に
取し保に附ゆり我々ト上り我々が此の如く保に

雖有長崎の如く思ふ今一我々が武蔵を去るは時勢の故
討中々叶ふことも不承なり又屋敷より私腹状を寄す我々
ト今私腹状を寄す中頃山崎の如く私腹に於て絶大なる至る
甘味いめりたは果て有つ甘味い我々が亡きてアノ
難有るベシト案し由し我々ト私腹可成るは私腹
氏末カ保に附ゆり彼ノ如く何ん保者立居返に替るバ
此の如く保に附ゆり我々ト上り我々が此の如く保に
取し保に附ゆり我々ト上り我々が此の如く保に
取し保に附ゆり我々ト上り我々が此の如く保に